

施策項目 17 家庭教育支援の充実

[評価結果]

[担当課: 社会教育課(義務教育課、生徒指導・学校安全課)]



担当課HP

総合評価	進展あり
-------------	-------------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	2	4	1
	d評価となった指標	②			

定性評価 [施策]	進展あり
-----------	------

子どもの望ましい生活習慣の定着に向けて、テレビを見たり、ゲームをする時間が長いこと、毎日朝食を食べている児童生徒の割合が小・中学校のいずれも依然として全国と比べて低く、学習習慣の定着が課題となっていることから、リーフレット「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」や「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って」を活用した研修会やフォーラムなどを実施し、生活リズムを整え、学習習慣を定着させる学習機会の提供した。また、YouTubeでの動画配信による家庭教育支援者の資質能力向上や、オンラインでの家庭教育サポート企業等交流会の実施など、施策の進展が認められる。

[施策の推進状況]

[P]・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 [D]・・・「Do 主な取組の状況」
 [C]・・・「Check 施策の課題」 [A]・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1) 家庭教育に関する学習機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣の定着に関わり、テレビを見たり、ゲームをする時間が長いこと、毎日朝食を食べている児童生徒の割合が小・中学校のいずれも依然として全国と比べて低くなっている状況 子どもの望ましい生活習慣の定着に係る取組を支える人材の育成や、学校や地域における取組への指導助言が必要 <p>(2) 家庭教育支援のための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村の家庭教育支援者が域内における家庭教育支援の方策を検討し、家庭教育支援に関する取組が十分でない状況 様々な理由により参加できない保護者に対する子育てや家庭教育に関する学習機会や情報の提供が不足している状況 子ども相談支援センター及び道立教育研究所における教育相談は計画どおり実施しているが、相談対応の充実を図るため、相談員の資質向上が必要
---------	--

(1) 家庭教育に関する学習機会の充実	
[P]	<p>①子どもの望ましい生活習慣・学習習慣確立のための意識啓発の実施</p> <p>②「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」を実施</p> <p>③「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着フォーラム事業」を実施</p>
[A]	<p>①・②・③</p> <ul style="list-style-type: none"> 「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」を14管内で実施するほか、家庭教育ナビゲーターや家庭教育サポート企業を活用した交流会等の実施により、保護者の参加を促進 今年度実施した研修会の実績報告を取りまとめるとともに、関係課や道PTA各教育局における生活習慣と学習習慣の確立に向けた一体的な取組を支援 より多くの機会を捉え、保護者向けリーフレットやPTAの実践事例集を活用した広域的な普及啓発の実施 「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着フォーラム」の早期開催により団体における取組の活性化を図る
[D]	<p>①関係課や道PTA連合会と連携し、保護者向けリーフレットやPTAの実践事例集を作成・配布</p> <p>②「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修会」(14管内)を実施し、家庭教育ナビゲーターを活用して意識の低い保護者への参加を促進</p> <p>③「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着フォーラム事業」を社会教育関係団体に委託し、全道規模のフォーラムを実施(6月)</p>
[C]	<p>①・②</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内によっては保護者の参加が少なかったことから、より多くの保護者の意識が高まるよう、様々な機会を捉え、関係機関、団体、企業等と連携した取組が必要 全国学力学習状況調査の結果における朝食摂取率や読書時間などにおいて改善の傾向が見られないことから、学習習慣の確立も含めたより一層の一体的な取組が必要 この2年間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、社会教育関係団体においては研修機会の確保に苦慮している状況が見られたことから、フォーラム事業を早期に実施し取組の具体案を検討するなどして、各団体における取組を促進することが必要

(2) 家庭教育支援のための環境づくり	
[P]	<p>①全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができる支援体制の構築のため、「地域における家庭教育支援基盤構築事業」を実施</p> <p>②子ども相談支援センターの電話相談について、国への財源措置を要望するなど、更なる充実に向けて検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、計画的に相談員研修会を実施し、相談員の資質向上を促進
[A]	<p>①対象者やテーマを明確に設定の上、新たな家庭教育支援に資する動画を作成し、引き続き、家庭教育支援者養成研修をYouTubeでの配信により実施するほか、家庭教育ナビゲーターのネットワークづくりのため、集合研修やオンライン研修など交流する機会を確保</p> <p>②子ども相談支援センターの電話相談について、引き続き国への財源措置を要望するなど、相談支援体制の充実に向けて検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話相談員の研修に係る報酬の確保など、研修機会を保障する取組について検討 緊急対応等について具体的な事例や演習等による研修を実施
[D]	<p>①家庭教育支援の有識者で構成し、地域における総合的な家庭教育支援活動の在り方の検討、成果の検証等を行う「家庭教育推進協議会」を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育ナビゲーターの資質向上を図るため、「家庭教育支援者養成研修」を実施(動画9本を新規作成しオンデマンド配信閲覧3,683回) <p>②子ども相談支援センター及び道立教育研究所における教育相談を年間を通して実施</p>
[C]	<p>①YouTubeでの動画配信により、家庭教育支援者養成研修を実施したことにより、時間や場所に制限されることなく学ぶことができた一方、視聴できない方がいたり、誰を対象とするかが不明瞭との声もあったことから、研修方法や内容に改善を加えることが必要</p> <p>②教育相談については市町村・学校等の要望も強いことから、継続して実施することが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待や自殺未遂のほか、犯罪に巻き込まれている可能性がある相談電話への対応など、緊急時の対応について継続的に研修を行うことが必要

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらい の時間、テレビゲーム(コンピュータ ゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やス マートフォンを使ったゲームも含む)をし ますか」という質問に対して、「2時間以 上」と回答した小学校6年生、中学校3年 生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 38.0	(毎年度) 全国平均を下回るとともに、 前年度も下回る						※前年度数値 が参考値のため 評価不可	全国学力・学 習状況調査	文科省	R3. 5. 27	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 43.1	38.0	-	-	(53.0)	56.0						
② 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていま すか」という質問に対して、「寝ている」又は 「どちらかといえば、寝ている」と回答し た小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 79.7	100	100	-	100	100	81.4%	c	全国学力・学 習状況調査	文科省	R3. 5. 27	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 74.9	79.7	77.0	81.5	(80.4)	81.4						
③ 「北海道家庭教育サポート企業等制度」に登録して いる企業数		(H28) 2,262	2,500	2,640	2,800	2,800	3,000	94.5%	b	北海道家庭 教育サポ ート企 業等制 度登録 簿	道教委	R4. 4. 25	協定締結 企業
		(H29) 2,359	2,424	2,564	2,570	2,646							
④ 「家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日 どれくらいの時間、読書を読みますか」とい う質問に対して、「10分以上」と回答した小 学校6年生、中学校3年生の割合 (%) (再掲) 【全国学力・学習状況調査】 (本掲は、「施策項目10」)	小	(H29) 60.9	61.8	63.2	-	63.7	70.0	90.4%	b	全国学力・学 習状況調査	文科省	R3. 5. 27	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 53.3	60.9	62.8	63.0	(57.5)	57.6						
⑤ 「朝食を毎日食べていますか」という質問 に対して、「食べている」と回答した小学 校6年生、中学校3年生の割合(%) (再掲) 【全国学力・学習状況調査】 (本掲は、「施策項目15」)	小	(H29) 84.4	100	100	-	100	100	83.7%	c	全国学力・学 習状況調査	文科省	R3. 5. 27	公立小・ 中学校の 児童生徒 (小6・ 中3)
	中	(H29) 81.4	84.4	81.8	84.0	(81.6)	83.7						
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価			C	d 評価に対 する今後の 取組	② 関係機関、団体、企業等と の連携により、保護者に対 する家庭での生活リズムと 学習習慣の確立のための取 組			
	0	2	4	1									